

特集

新年のあいさつ…………… P.2  
 シリーズ“暮らしつづけたいまち”を目指して…………… P.4  
 審議会等の公募委員候補者・市政モニターご登録のお願い…………… P.5  
 環境美化ポスター入選作品…………… P.6  
 交通安全作文・ポスター・標語入選作品…………… P.7  
 確定申告相談等の案内…………… P.8  
 児童館ランドセル来館事業説明会のお知らせ…………… P.9  
 民生委員児童委員をご存知ですか？…………… P.10

情報BOX…………… P.12  
 ようこそ！あさかの生涯学習へ…………… P.25  
 わたくしたちの健康…………… P.31  
 みんなすこやか…………… P.32  
 PHOTO NEWS…………… P.33  
 市民伝言板…………… P.35

表紙の写真 書き初めにチャレンジするぼぼたん



シリーズ“暮らしつづけたいまち”を目指して

問／政策企画課  
 ☎463-3089



子育てがしやすいまち

第5次朝霞市総合計画の将来像「私が暮らしつづけたいまち朝霞」。“暮らしつづけたい”と思えるまちとなるよう定めた4つの基本概念（コンセプト）から市の取り組みを紹介します。

子育てがしやすいまちとは、「このまちで子どもを育て、その喜びを実感できる」まちです。そのためには、安心して楽しく子どもを育てるためのさまざまな支援が充実していることが必要です。



～市民の声～（市民満足度アンケートより）

初めての出産であり、とても不安に感じる事もありましたが、地域の支援センターでいろいろな話を聞けたり、ベビーマッサージをしたり、とても楽しかったです。

～市の取り組み～子育て支援センター

市では、子育てへの不安解消や育児支援のため、市内の9か所に子育て支援センターを設置しています。各センターでは、定期的にリトミックや読み聞かせなどのイベントも行っていて、毎日多くの方に利用していただいています。イベントなどを通じて、保護者とお子さんが一緒に遊んだり、職員に子育てに関する相談をしたりすることができます。また、同世代の子を持つ保護者同士で情報交換をするなど、交流の場にもなっています。今後も、子育てがしやすいまちを目指し、支援体制とサービスの充実を図っていくとともに、多くの子育て家庭の方々に利用していただけるよう、情報発信を行っていきます。

問／保育課  
 ☎463-2939



インタビュー

①生後10か月のお子さんと来所されたお母さんにお話を伺いました。



Q. 支援センターを知ったきっかけは何ですか？

A. 検診の時に市の職員の方に教えていただき、子どもが生後5か月のころから利用しています。

Q. どれくらいの頻度で利用されていますか？

A. 来られる時は、ほぼ毎日利用しています。職員の皆さんが優しく、自宅よりも広い場所で遊ばせることができるので、とても助かっています。

Q. 利用してみてどうですか？

A. センターでは同年代の子を持つ親同士で気軽におしゃべりできるので気分転換になり、ありがたいです。

②きたはら子育て支援センターの職員にお話を伺いました。



Q. 1日に何人くらいが利用されていますか？

A. 毎日30～50組くらいの方たちがいらっしゃいます。

Q. 何歳のお子さんが利用できる施設ですか？

A. 0～6歳の小学校入学前のお子さんが利用できます。

Q. どのような相談を受けることが多いですか？

A. お子さんの月齢に応じて、離乳食、夜泣き、トイレトレーニングなどに関する相談を受けることが多いです。

Q. 保護者の方たちへのメッセージをお願いします。

A. 支援センターでは小さいお子さんを持つご家庭の皆さんが安心して子育てができるよう応援しています。お子さんと一緒に気軽にお立ち寄りください。